



令和元年8月豪雨災害

8月下旬、九州北部地方を中心に局地的に猛烈な雨が降り、大きな被害が生じました。日本赤十字社では、佐賀県支部等において被害状況のアセスメントを行うとともに、佐賀県災害対策本部をはじめとする関係機関との連絡調整にあたりました。日赤第6ブロック（九州ブロック）内の支部から医療チームが佐賀県支部へ派遣され、医療救護活動にあたりました。また、日赤ボランティアも救援物資の積込や配達等の活動を行いました。



令和元年台風第15号災害

9月初旬、台風第15号により、関東地方で猛烈な風が吹き、大きな被害が生じました。日本赤十字社では、千葉県支部等において被害状況のアセスメントを行うとともに、関係機関との連絡調整を行い、停電となった医療施設に医療チームを派遣しました。また、停電している他の医療機関からの患者の受け入れも積極的に行いました。千葉県近隣の支部からも日赤救護班を派遣し、避難所支援にあたりました。



千葉県支部に新潟県支部より支援要員として職員1名を派遣しました。
(派遣期間9/16~9/19)

派遣職員コメント：大きな被害を受けた安房地域（館山市、南房総市、鋸南町）で活動しました。日赤救護班は、避難所支援の他、連絡が取れない地域のアセスメント活動も行いました。今後も、被災者を支える活動を続けていきます。



日本赤十字社新潟県支部救護員訓練を実施しました

赤十字さんって、平時は何をしているの？

A. 訓練や研修を重ね、災害時すぐに対応できるようにそなえています。救援物資の備蓄配備もしています。

毎年開催している救護員訓練。今年はスタッフ、参加者総勢約80名での訓練となりました。災害救護の基本的な考え方や、災害を想定した演習、必要な事務処理等様々なプログラムを用意。医師・看護師と事務を担う職員が協力し合い、とても意義のある訓練を行うことができました。当日はボランティアさんにもご協力いただきました！ありがとうございました！

令和元年度
日本赤十字社新潟県支部
救護員訓練会場



災害時を想定して、治療の優先順位をつける「トリアージ」の実習や、医療の演習。緊張感の中、真剣に取り組みます。



無線奉仕団の方々の実習も同日に行われました。

災害救護の基本の講義。また、事務職員の研修として災害対策本部での役割やシステムの入力方法なども学びました。



災害時に迅速かつ的確な救護活動ができるように、日ごろから訓練や研修を行っております。災害救護だけではなく、これらの事業もみなさまから寄付金で実施させていただいております。今後ともご理解・ご支援のほどよろしくお願ひいたします。



新潟県支部HPでも
情報発信を行っています。



日本赤十字社 新潟県支部
JAPANESE RED CROSS SOCIETY